2.飢餓をゼロに

学生の生活を守るための「食の支援」プログラムの実施

慶應義塾では、物価高騰や生活環境の変化に伴う経済的困窮、あるいはひとり暮らしにより健康的な食生活の維持が困難な学生を対象に、企業との連携による「食の支援」を実施しています。費用は慶應義塾が負担し、延べ300名の対象学生が無償で本支援を受けることができます。

春学期（6～9月）と秋学期（11～3月）の期間中に毎月8つの食材セットを、支援を必要とする学生へ直接届けることで、健康的な生活習慣の定着と経済的負担の軽減を図っています。

多様な背景を持つ学生が、誰もが安心して学業や課外活動に専念し、充実した学生生活が送れるよう、本学では今後も食の面からのサポート拡充に努め、一人ひとりに寄り添ったキャンパス環境の整備を推進していきます。

2025年自然科学研究教育センター・シンポジウム「話そう、考えよう、SDGsと科学のこと」開催

2025年11月15日、日吉キャンパスにて、自然科学研究教育センター主催シンポジウム「話そう、考えよう、SDGsと科学のこと」を開催し、約40名が参加しました。本シンポジウムは、2030年までの達成を目指すSDGsに、科学技術がどのように貢献できるのかを参加者と共に考えることを目的に、SDGs関連分野の第一線で活躍する4名をお迎えして講演を行いました。

大沼あゆみ経済学部教授は、技術や生産物が市場に普及する仕組みを具体例と共に解説し、地球環境を支える経済の役割を示しました。続いて、Jリーフ株式会社の上原淳氏は、レタスの植物工場の現状と展望を紹介し、持続可能な食料調達の可能性を示しました。千代田化工建設株式会社の今川健一氏は、次世代エネルギーとして期待される水素の利活用について、コスト面も含めた展望を説明しました。最後に、清水建設株式会社の鵜山尚大氏より、月面太陽光発電「ルナリング」構想と月面建設技術を通じた将来のエネルギー供給の可能性が語られました。

講演後、総合質疑討論が行われました。登壇者と参加者が、2030年以降を見据えて、科学技術の未来像を具体的に構想し、共有する有意義な機会となりました。



銀杏並木とシンポジウムポスター



総合質疑討論の様子

塾生会議プロジェクトの活動

塾生会議から提出された提言の中から審査を経て採択されたものは、学生が主体となる「塾生会議プロジェクト」として具体化され、様々な活動へと発展していきます。

料理教室プロジェクト

ひとり暮らしによる孤食や、外食が増えた学生へ栄養バランスのとれた健康的な食生活を促すため、履修登録科目には無い「家庭科」として調理を学ぶ場を提供するプロジェクトです。「共に調理し共に食べる」体験を通じた学生同士の交流による心身の健康サポートだけでなく、規格外野菜の活用や無駄を出さない調理方法の習得による環境配慮・フードロス削減も目指しています。

料理教室は、2025年6月11日、11月4日、2026年1月14日の計3回、株式会社グリーンハウス（https://www.greenhouse.co.jp/）の管理栄養士のご協力の下、日吉キャンパスで実施し、延べ71名の学生が参加しました。手軽で実践的なメニュー調理に加え、食材の知識やアレンジ法も学べる内容とし、好評を博しました。また、2025年11月にはさらに、「食のSDGs」をテーマとしたトークイベントも開催し、3名の登壇者に「ビーガン向け和食」について講演していただきました。



料理教室ポスター


調理を行う学生

地方学生プロジェクト

SDGsゴール10「人や国の不平等をなくそう」の理念に基づき、地方出身生への支援を通じて、慶應義塾における学生の多様化を推進するプロジェクトです。

「地方出身×ひとり暮らし」の学生を主な対象とし、入学前後や大学生活における不安を軽減するためのソフト面での支援を実施しています。「2030年までに地方出身生の割合を40%まで回復させる」ことを目標とし、多様な背景を持つ学生同士の交流や議論を促進することで、新たな価値の創出や社会課題の解決につながる環境づくりを目指しています。

2025年3月19日と3月27日、地方出身の新入生が入学前に抱える疑問や不安を解消することを目的として、オンラインでの入学前交流会を開催しました。在学生による、実体験を踏まえた大学生活やひとり暮らし事情などの話を聞けるほか、新入生同士や在学生と交流できる機会となりました。

また、2025年4月2日～4月4日の3日間、日吉キャンパスの学生食堂「グリーンズマルシェ」の協力の下、夕食を無料で提供する「よる食堂」イベントを開催しました。「地元愛を伝えよう」「ひとり暮らし自炊問題解決」などのテーマを設定し、不安を抱える入学直後の地方出身の新入生が交流できる場を設けました。

さらに、健康面や精神面、交友関係等ソフト面での包括的支援を目的としたデジタルパンフレット「Unlimited Vol.3」も昨年度に引き続き作成し、入学前交流会や「よる食堂」参加者に配布しました。



よる食堂の様子



Unlimited Vol.3